

報告作成にあたっての注意事項

様式第3 (第52条関係)

第一種フロン類充填回収業者のフロン類充填量及び回収量等に関する報告書

2023年 月 日

宮城県知事 殿

作成日を入力してください。

※※※※※ 注意 ※※※※※

**この用紙は報告用の用紙ではありません。
この用紙に回収量等を記入し、提出しても受理
できませんのでご注意ください。**

(郵便番号) 〒

住所

氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

登録番号

法人の場合は、法人名と代表者氏名を入力。個人の場合は、氏名を入力(屋号は不要です。)

宮城県内における回収等の実績が無い場合でも空欄にせず必ず「0」を入力してください。

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律第47条第3項の規定に基づき、次のとおり報告します。

CFC	(1)エアコンデショナー		(2)冷蔵機器及び冷凍機器		(3)合計	
	設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外
CFCを充填した第一種特定製品の台数	台	台	台	台	0台	0台
①充填した量	kg	kg	kg	kg	0.0kg	0.0kg
	(1)エアコンデショナー		(2)冷蔵機器及び冷凍機器		(3)合計	
	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等
CFCを回収した第一種特定製品の台数	台	台	台	台	0台	0台
②回収した量	kg	kg	kg	kg	0.0kg	0.0kg
③年度当初に保管していた量					kg	kg
④第一種フロン類再生業者に引き渡した量					kg	kg
⑤フロン類破壊業者に引き渡した量					kg	kg
⑥法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量					kg	kg
⑦第49条第1号に規定する者に引き渡した量					kg	kg
⑧年度末に保管していた量					kg	kg
HCFC						
中 略						

整備時にフロン類を一時回収し、整備後に再び同じ数量を機器に戻した場合は回収台数「0」、回収量「0」となります。

【注：間違いが多い項目です】

「③年度当初に保管していた量」には前年度の報告に記載した年度末の保管量を入力してください。※⑪、⑲も同様
※購入した冷媒は含みません

「⑧年度末に保管していた量」は②と③の合計から④～⑦の合計を差し引いた量になります。
※⑯、⑳も同様 ※この数値は来年度報告に使用します ※購入した冷媒は含みません

⑱年度当初に保管していた量	kg	kg
⑳第一種フロン類再生業者に引き渡した量	kg	kg
㉑フロン類破壊業者に引き渡した量	kg	kg
㉒法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量	kg	kg
㉓第49条第1号に規定する者に引き渡した量	kg	kg
㉔年度末に保管していた量	kg	kg

【注：間違いが多い項目です】

フロン類が充填されていないことの確認を依頼され、残存しないことを確認した台数（確認証明書を交付した台数）を入力してください。

※フロン類の回収を依頼され、回収作業を実施した結果、回収量がゼロであった場合はこの欄には含めないでください。

法第41条の規定によりフロン類が充填されていないことの確認を行った第一種特定製品の台数	(1)エアコンデショナー		(2)冷蔵機器及び冷凍機器		(3)合計	
		台		台	0	台

中 略

【担当者情報】

記載内容についてお問い合わせさせていただくことがありますので、ご記入ください。

所属			
氏名		電話番号	
通信欄			

報告内容の確認がある場合に連絡いたします。
日中繋がる番号を入力してください。

各項目の入力値が【補足1】の計算式と一致しない理由がある場合は、通信欄にその理由を入力してください。

【補足1】 入力が終了したら、各各項目の入力値が以下の計算式と一致するか確認してください。

CFC	②+③=④+⑤+⑥+⑦+⑧
HCFC	⑩+⑪=⑫+⑬+⑭+⑮+⑯
HFC	⑱+⑲=⑳+㉑+㉒+㉓+㉔

【補足2】 各項目の解説

設置	機器を新規に設置した際の追加充填量とその台数(機器に当初から充填されていた量は含めない)
設置以外	機器の整備時の追加充填量とその台数(機器から抜いて戻す量は含めない)
整備	機器の整備時の回収量とその台数(機器から抜いて戻す量は含めない)
廃棄等	機器の廃棄時の回収量